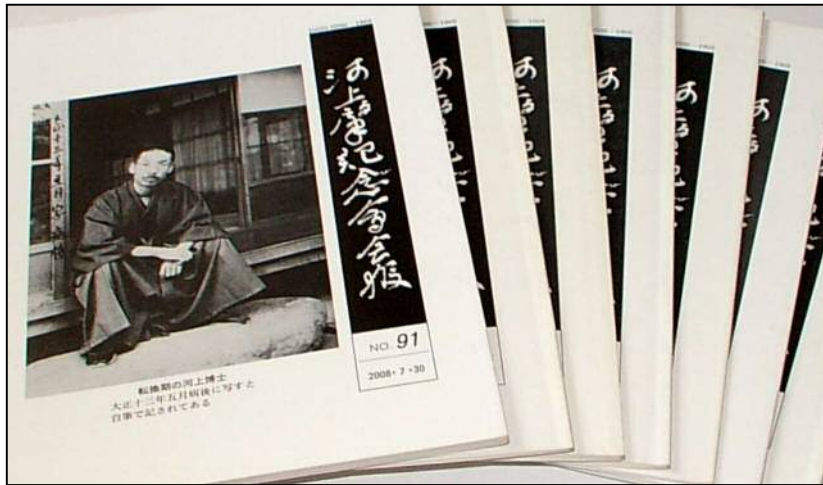


河上肇博士関係資料目録

1901（明治34）年～1979（昭和54）年



河上肇記念会

「河上肇博士関係資料目録抜刷合冊」の刊行にあたって

河上肇記念会会報編集委員会

本会世話人の内藤昭子氏作成の「河上肇博士関係資料」が、「河上肇記念会会報」八二号（二〇〇五年五月）から一〇三号（二〇一二年九月）までに、二〇回にわたって連載されてきました。

同氏の原稿はさらに数回分準備されていますが、現時点でこの「資料」を河上肇研究者の手元にお届けすることが有益であろうと考え、抜刷合冊にして河上肇記念会より刊行することにいたしました。

この目録は、河上肇に関して書かれた図書、雑誌、新聞等に掲載された論文や記事を収集して、その著者、題名、掲載誌名、巻号、発行年月日、発行所を記しています。収録文献は一九〇一（明治三四）年から一九七九（昭和五四）年までのものを、ほぼ発行年順に配列し、明治期、大正期、昭和期に分けてそれぞれの期ごとに文献ナンバーを付しました。

記述形式や新旧の漢字の使用などについては、内藤氏の編集形式、内容を尊重することとし、誤字、脱字等に関わる最低限の校正のみにとどめました。脱漏している論文や記事、内容の不確実なものも散見されますが、今回はそれらの追加、修正はしませんでした。

河上肇に関するこの種の目録の先行業績としては、天野敬太郎氏の

「河上肇博士文献志」（日本評論新社、一九五六年）があります。天野氏は同書に一九五五年までの文献を収録しましたが、その後、一九六一年までの補遺を「河上肇博士文献志補遺（未定稿）」（東京河上会、一九六二年）、一九六四年までのそれを末川博編「河上肇研究」（筑摩書房、一九六五年）に掲載し、一九六五年から一九七三年秋までのものは「河上肇博士文献志 昭和四〇～四八年秋」（東京河上会、一九七四年）として公表しています。

天野氏の先駆的な仕事と今回の内藤氏の目録を併用することによって、河上肇関係文献のほとんどを網羅することが可能となります。両目録の活用によって、河上肇研究が更なる広がりや深まりをもつことを、本編集委員会は期待いたします。

今回の目録と天野氏のそれが、その記述も含めて一層精査され、一九八〇年代以降の新たな文献が追加されて、両者の記述が統一され、まとめられることが課題として残されました。編集委員会はこの課題に応えるべく更なる作業を進めたいと考えています。

最後に、この目録は「河上肇全集」（岩波書店）の編集に関わった内藤氏が岩波書店の要請に応じて作成したものです。今回の「抜刷合冊」の刊行を快く承諾して下さった岩波書店に感謝申し上げます。

二〇一二年一〇月一〇日

明治期	①～②	1
大正期	③～⑤	11
昭和期	⑥～⑳	35



編集・発行 河上肇記念会

〒606-8201

京都市左京区田中玄京町76

山本正志気付

電話 (075) 702-6705